

典礼のしおり

0 Domingo N 31

PANIB 発行 16-07-2023

年間第15主日

皆さん、この聖体祭儀によくいらっしやいました。私たちの心は、イエスによって蒔かれた「命と自由」のメッセージを受け入れる肥沃な土壌でありたいと思います。キリストの復活を祝うことは、神のみ言葉を生きる共同体の中に、そして、神のみ言葉によって刷新される心の中に示されます。また、今週、マツト・グロソ州のロンドノポリスで開催される第15回CRB（ブラジル修道者連盟）会議の成功のために祈りましょう。

入祭唱

すべてを越える神よ、わたしは心から感謝し、あなたの偉大なわざを告げ知らせる。

栄光の賛歌

集会祈願

すべてを照らしてくださいさる神よ、あなたは、暗やみに

さまよう人たちがまことの道に立ち帰るように、真理の光を輝かせてくださいます。洗礼を受けたすべての人が、信仰に反することを退け、キリストに従って生きることができまますように。聖霊の交わりの中で、あなたとともに世々に生き、支配しておられる御子、わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

※朗読解説

豊かな土壌が種を受け入れ、芽を出し、成長するよううに、私たちもイエスが私たちの中の心に蒔かれようとしていく神のみ言葉を受け入れましょう。

イザヤの預言（イザヤ55・10-11）

「主は言われる。」雨も雪も、ひとたび天から降れば、むなしく天に戻ることはない。

それは大地を潤し、芽を出させ、生い茂らせ種蒔く人には種を与え食べる人には糧を与える。

そのように、わたしの口から出るわたしの言葉も

むなしくは、わたしのもとに戻らない。

それはわたしの望むことを成し遂げわたしが与えた使命を必ず果たす。

12¹ 13+14)

全・いのちあるすべてのものに、主は食物を恵まれる。

あなたは地を訪れて喜ばせ、

豊かな実りで覆われる。

大空に水を蓄え、

地に水を注いで表を与えられる。

全・いのちあるすべてのものには食物を恵まれる。

田畑に水を送り、土くれをならし、

夕立で地を潤して作物を祝福される。

あなたの恵みは豊作をもたらし、

あなたの訪れるところに豊かさがあふれる。

全・いのちあるすべてのものには食物を恵まれる。

荒れ野のまきばも若草にもえ、

丘一面に喜びがこたます。

野山は羊の群れに満ち、谷は小麦に覆われ、

人々は喜びにあふれてうたう。

全・いのちあるすべてのものには食物を恵まれる。

(ローマ 8・18-23)

〔皆さん〕現在の苦しみは、将来わたしたちに現

されるはずの栄光に比べると、取るに足りないことわた

しは思います。被造物は、神の子たちの現れるのを切

に待ち望んでいます。被造物は虚無に服していますが、

それは、自分の意志によるものではなく、服従させた

方の意志によるものであり、同時に希望も持っていま

す。つまり、被造物も、いつか滅びへの隷属から解放さ

れて、神の子供たちの栄光に輝く自由にあずかれるか

らです。被造物がすべて今日まで、共にうめき、共に

産みの苦しみを味わっていることを、わたしたちは知

っています。被造物だけでなく、霊の初穂をいただ

いているわたしたちも、神の子とされること、つまり、

体の贖われることを、心の中でうめきながら待ち望

んでいます。

アレルヤ唱

アレルヤ、アレルヤ、アレルヤ。

種は神のことば、まくな人はキリスト。キリストを見い

だす人は永遠に生きる。

アレルヤ、アレルヤ、アレルヤ。

マタイによる福音 (マタイ 13・1-23、または 13・1-19)

その日、イエスは家を出て、湖のほとりに座っておられた。すると、大勢の群衆がそばに集まって来たので、イエスは舟に乗って腰を下ろされた。群衆は皆岸辺に立っていた。イエスはたとえを用いて彼らに多くのことを語られた。「種を蒔く人が種蒔きに出て行った。蒔いている間に、ある種は道端に落ち、鳥が来て食べてしまった。ほかの種は、石だらけで土の少ない所に落ち、そこは土が浅いのですぐ芽を出した。しかし、日が昇ると焼けて、根がないために枯れてしまった。ほかの種は茨の間に落ち、茨が伸びてそれをふさいでしまった。ところが、ほかの種は、良い土地に落ち、実を結んで、あるものは百倍、あるものは六十倍、あるものは三十倍にもなった。耳のある者は聞きなさい。」

《弟子たちはイエスに近寄って、「なぜ、あの人たちにたとえを用いてお話しになるのですか」と言った。イエスはお答えになった。「あなたがたには天の国の秘密を悟ることが許されているが、あの人たちには許されていないからである。持っている人は更に与えられ

て豊かになるが、持っていない人は持っているものまでも取り上げられる。だから、彼らにはたとえを用いて話すのだ。見ても見ず、聞いても聞かず、理解できないからである。イザヤの預言は、彼らによって実現した。『あなたがたは聞くには聞くが、決して理解せず、見るには見るが、決して認めない。』

この民の心は鈍り、耳は遠くなり、目は閉じてしまった。こうして、彼らは目で見ることなく、耳で聞くことなく、心で理解せず、悔い改めない。わたしは彼らをいやさない。』

しかし、あなたがたの目は見ているから幸いだ。あなたがたの耳は聞いているから幸いだ。はっきり言うておく。多くの預言者や正しい人たちは、あなたがたが見ているものを見たかったが、見る事ができず、あなたがたが聞いているものを聞きたかったが、聞けなかったのである。だから、種を蒔く人のたとえを聞きなさい。だれでも御国の言葉を聞いて悟らなければ、悪い者が来て、心の中に蒔かれたものを奪い取る。道端に蒔かれたものとは、こういう人である。石だらけの所に蒔かれたものとは、御言葉を聞いて、すぐ喜んで受け入れるが、自分には根がないので、しばらく

は続いて、御言葉のために艱難や迫害が起ると、すぐにつまずいてしまう人である。茨の中に蒔かれたものとは、御言葉を聞くが、世の思い煩いや富の誘惑が御言葉を覆いふさいで、実らない人である。良い土地に蒔かれたものとは、御言葉を聞いて悟る人であり、あるものは百倍、あるものは六十倍、あるものは三十倍の実を結ぶのである。」

信仰宣言

共同祈願

司・私たちの心を開いて、神のみ言葉を聞き、受け入れることが出来るように、み言葉を種蒔く聖なる神に祈りましょう。

1・主よ、貴方は「わたしの口から出る私の言葉は、空しく、私のもとに戻ることはない」と仰せになります。教会が何時も喜んでイエスの「良い便り」を蒔く用意があるようにしてください。

全・主よ、私たちの祈りをお聞き入れください。

2・主よ、「種をまく人は種をまくために出かけました。あなたの言葉を告げ知らせるために全力を尽くす宣教師達に喜びをお与えてください。(全・主よ…)」

3・主よ、「種子は良い土地に落ちて、実を結びまし

た。」¹ 野良仕事に従事する農家に天候を恵み、豊かな収穫と公正な報酬をお与えください。(全・主よ…) 4・主よ、「創造の業は、今に至るまで、産みの痛みにうめいています。」 わたしたちを照らしてください。貴方の創造のすべての御業を尊重し、大切にする事が出来ますように。(全・主よ…)」

5・主よ、「良い土に落ちた種とは、その言葉を聞いて悟った人たちです。」 私たちの沈黙の内に献げる祈りを聴き入れてください。(一人一人、沈黙の中で各自の祈りを捧げる。)(全・主よ…)」

司・命の神よ、私たちがあなたに献げた祈りを聴き入れてください。私たちの主イエス・キリストによって。アーメン。

奉納祈願

聖なる父よ、教会のささげものを受け入れてください。この供えものが、信じる者を養ういのちの糧となりますように。わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

拝領祈願

全能の神よ、いのちの糧に強められて祈ります。主の過越を記念するたびに、救いの業がわたしたちの中に力強く実現して行きますように。わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。